

課題名	30. チャノキイロアザミウマの防除薬剤について											
成果の要約	白色剤（サビナイン水和剤及びクレフノン）、プリクトラン水和剤ともに対照のジマンダイセン水和剤と同等の被害防止効果が認められた。											
成績概要	サビナイン水和剤60倍、クレフノン80倍、プリクトラン水和剤2,000倍ともに対照のジマンダイセン水和剤と同等の防除効果が認められた。											
	各薬剤の被害防止効果（10月2日）											
要	試験区	果こう部					被害度	果頂部				被害度
		被害程度				被害程度						
要		— 士 + 卅					— 士 + 卅					
		(%)						(%)				
要	① サビナイン水和剤 60倍	83.3	14.3	2.4	0	3.6 (0.9)	80.0	19.3	0.7	0	3.6 (0)	
	② クレフノン 80倍	88.3	11.7	0	0	2.0 (0.8)	80.8	19.7	0	0	3.2 (0)	
要	③ プリクトラン水和剤 2,000倍	80.8	19.2	0	0	3.2 (1.4)	82.5	17.5	0	0	2.9 (0.3)	
	4. ジマンダイセン水和剤 500倍	85.0	11.3	0.7	0	2.8 (2.1)	78.3	21.7	0	0	3.6 (0.1)	
要	無散布	41.5	46.8	11.7	0	13.6 (7.6)	42.5	50.0	7.5	0	12.1 (1.1)	
要	注) ( )内は7月23日調査時の値 散布月日 サビナイン、クレフノン、ジマンダイセン：8月5日、9月13日 プリクトラン：9月13日(8月5日 ジマンダイセン) (昭60長崎果試)											
普及上の留意点	無登録の有効剤については登録後、病害虫防除基準への記載を検討する。											